



▲Sさんが勤務していた泊村役場



Sさんの自家用車が発見された岩内のバスターミナル横駐車場

# 特集 本誌 報道から1年 泊村 24歳職員 「自死」の不可解を検証する

ジャーナリスト 黒田 伸

コロナ禍で全国の自殺者が前年を上回る事態となっている中、泊原発のある泊村役場の男性職員Sさん(享年24)が2019年12月26日に岩内町のバスターミナル横の駐車場に停めた自家用車内で煉炭自殺した。この「事件」を改めて検証してほしいという声の関係者から上がっている。

## 「遺書改ざん」の内部告発

Sさんの自死をめぐっては、いくつかの疑問が残っている。

自家用車内で発見されたあと、Sさんの宿舎だった村営住宅に行つた職員が遺書を発見し、遺書は上司と警察に提出されたと説明されているが、その遺書が村役場幹部によって改ざんされたという「内部告発」が一部の

報道機関に郵送されていた。

筆者が2020年1月に入手した文書には、自殺の原因とされる上司によるパワーハラメントを具体的に記した部分が「削除されて遺族に渡っている」という内容が書かれている。

「内部告発」とタイトルが冠されたその文書

「その中には、自殺する理由が明記されていません。それは上司によるパワーハラメントです。対象者の個人名が明記されており、●●●●によるパワーハラメントが原因と明記されていたのです」(●●●●部分原文は実名)。

初に発見した上司が「困ったようにつぶやいていた」としたうえで、その後別の課長から「年末年始のお目出度い時期に、村民が大きなショックを受けるので自殺のことは一切話さないように」と職員全体にかん口令が敷かれたことを明らかにしている。

## 上司パワーハラが原因？

そして、次の段落で「さらにSさんが命をかけて最後に訴えた遺書が改ざんされました」とあり、「改ざんされました」の部分にはアンダーラインが引かれていた。

響を挙げており、「●●●によるSさんへのパワーハラメントの記載部分がそっくり削除されてご遺族に渡されているのです」とショックな内容を記している。

改ざんされた理由として年明け早々に告示される村長選挙への影

さらにSさんへのパワーハラ的具体的事案について、「複数の職員



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)